

Market Watching

発表日: 2020年8月31日(月)

次期首相候補の経済・財政政策に注目(マーケットウィークリー)

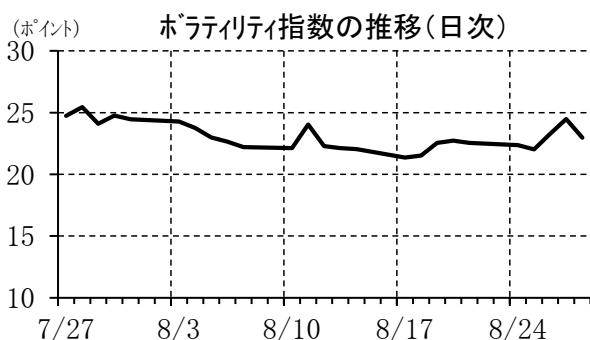
～世界の注目は米雇用回復ペースの鈍化度合い～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
8月24日(月)	—				
8月25日(火)	ドイツ: ifo景気動向指数 (8月)	92.6	92.2	90.5	ポイント
	米国: S&Pプロシクケスラー住宅価格指数・20都市 (6月)	+3.5%	+3.6%	+3.7%	前年比
	米国: FHFA住宅価格指数 (6月)	+0.9%	+0.4%	▲0.3%	前月比
	米国: 消費者信頼感指数 (8月)	84.8	93.2	92.6	ポイント
	米国: リッチモンド連銀製造業指数 (8月)	+18.0	+10.0	+10.0	ポイント
	米国: 新築住宅販売件数 (8月)	90.1	76.6	77.6	万件
8月26日(水)	米国: 製造業受注 (7月) ・耐久財 ・非国防資本財 (除航空機)	+11.2% +1.9%	+4.0% +1.7%	+7.6% +3.4%	前月比 前月比
8月27日(木)	米国: 新規失業保険申請件数 (8/15終了週) 米国: 実質GDP改定値 (4-6月期)	1,006 ▲31.7%	1,000 ▲32.5%	1,106 ▲32.9%	千件 前期比年率
8月28日(金)	日本: 都区部消費者物価指数 (8月) ・総合 ・除生鮮食品 米国: 個人所得支出統計 (7月) ・実質個人消費 ・PCEコアフレタ 米国: シカゴ地区PMI (8月)	+0.3% ▲0.3% +1.6% +1.0% 51.2	+0.6% +0.3% +1.3% +1.0%	+0.6% +0.4% +5.2% +0.8%	前年比 前年比 前月比 前年比 ポイント
8月29日(土)	—				
8月30日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.721	+9.3	▲1.2	▲137.3	0.137	0.159	0.669
日本	0.050	+2.0	+3.0	+33.0	0.025	0.016	-0.012
ドイツ	-0.409	+9.8	+9.9	+30.5	-0.480	-0.446	-0.412
豪州	1.020	+14.1	+10.1	+13.4	0.878	0.899	0.972
株価							
NYダウ	28653.87	+2.6	+8.6	+10.1	27523	26448	26263
日経平均	22882.65	▲0.2	+1.0	+11.7	22762	22399	21915
ユーロSTOXX50	3315.54	+1.7	+0.4	▲1.5	3291	3243	3304
上海総合	3403.81	+0.7	+5.4	+17.6	3351	3152	3005
為替相場							
ドル/円	105.20	▲0.6	+0.1	▲0.9	105.87	106.92	107.98
ユーロ/円	125.39	+0.5	+1.8	+6.7	125.10	122.27	120.52
豪ドル/円	77.48	+2.3	+3.0	+8.4	76.09	74.60	72.68
ユーロ/ドル	1.1811	+0.1	+0.8	+6.6	1.181	1.144	1.116
商品市況							
WTI	42.97	+1.5	+4.7	▲23.0	42.07	39.50	41.13
金	1966.8	+1.7	+1.1	+27.9	1962	1831	1682

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (8/24~8/28) の金融市場は、米国などで新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向を辿るなど、景気回復への環境が整いつつあるとの期待が高まる中で、株高・金利上昇の流れが続いた。FRBのパウエル議長がジャクソンホールで行われた講演で、インフレ率の目標水準を引き上げる考え方を示したことも、長期金利の上昇圧力となり、長短金利差の拡大に繋がった。一方で、日本では安倍首相の退陣表明で週末の株価は一時急落し、前週末水準を下回って越週した。

今週のマーケットは、内外ともに材料が非常に多い一週間となる。国内では、次期首相を巡る動きに注目が集まり、各種報道などに一喜一憂する展開となろう。市場が注目するのは経済政策の行方で、日銀と強力なタッグを組むアベノミクスが継承されるかどうかという点。とくに、財政政策に関しては、安倍政権下よりも健全財政を目指すとの見方が強まるようだと、株式市場にはマイナス材料となる一方、為替面では円高圧力を強める可能性がある。取り敢えずの任期は衆院解散までの約1年となるが、その間に新型コロナ対策や延期された東京五輪など支持率を左右する要素も多く、安定政権になるのか中継ぎになるのかといった点も不透明で、次期首相 (自民党総裁) が決定しても、政治面に対する不安感はつきまとおう。経済指標では、米ISM・雇用統計のほか、中国PMIなど注目度の高い指標の発表が目白押しとなる。とくに米雇用統計については、失業保険統計などから8月に入ってから雇用の回復テンポが鈍っていることが示唆されており、市場の警戒感も相応に強い。先週発表された米消費者信頼感指数は、新型コロナウイルスの感染が拡大してからの最低水準を記録するネガティブサプライズとなったものの、市場はこれを無視した。しかし、雇用の回復にもブレーキがかかるとなれば市場の不安感が表面化する恐れもあり、注意が必要だ。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
8月31日(月)	日本：商業動態統計・小売業販売額 (7月)	★★★	▲1.7%	▲1.3%	前年比
	日本：鉱工業生産指数 (7月)	★★★	+5.0%	+1.9%	前月比
	日本：住宅着工戸数 (7月)	★	79.9	79.0	万戸
	日本：消費動向調査・消費者態度指数 (8月)	★★	28.5	29.5	ポイント
	中国：PMI製造業景気指数 (9月)	★★★	51.2	51.1	ポイント
	インド：実質GDP (4-6月期)	★★	▲19.8%	+3.1%	前年比
9月1日(火)	日本：労働力調査・失業率 (7月)	★★	3.0%	2.8%	
	日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率 (7月)	★★	1.08倍	1.11倍	
	日本：法人企業統計 (4-6月) ・設備投資 (除ソフト)	★★★	▲3.8%	▲1.4%	前年比
	・経常利益	★★★	—	▲28.4%	前年比
	日本：新車販売台数 (8月) ・乗用車	★	—	▲19.6%	前年比
	中国：財新PMI製造業景気指数 (8月)	★★★	52.5	52.8	ポイント
	豪州：金融政策委員会	★	0.25%	0.25%	RBA政策金利誘導目標
	ドイツ：失業率 (8月)	★	6.4	6.4%	前年比
	ユーロ：失業率 (7月)	★	8.0%	7.8%	
	ユーロ：消費者物価指数速報値 (8月) ・総合	★	+0.2%	+0.4%	前年比
	・コア	★	+0.9%	+1.0%	前年比
	ブラジル：実質GDP (4-6月期)	★	▲11.5%	▲10.3%	前年比
	米国：ISM製造業景気指数 (8月)	★★★	54.5	54.2	ポイント
	米国：自動車販売台数 (8月)	★★	1,450	1,450	万台
9月2日(水)	豪州：実質GDP (4-6月期)	★★	▲5.2%	+1.4%	前年比
	米国：ADP雇用統計 (8月)	★★★	+1,250	+167	前月差、千人
9月3日(木)	ユーロ：小売売上高 (7月)	★★	+1.4%	+5.7%	前月比
	米国：チャレンジャー人員削減数 (8月)	★★	—	+576.1%	前年比
	米国：貿易収支 (7月)		▲515	▲507	億ドル
	米国：新規失業保険申請件数 (8/22終了週)	★★★	950	1,006	千件
	米国：ISM非製造業景気指数 (8月)	★★★	57.5	58.1	ポイント
9月4日(金)	米国：雇用統計 (8月) ・非農業就業者数	★★★	+1,600	+1,763	前月差、千人
	・失業率	★★★	9.9%	10.2%	
	・時間あたり賃金	★★	+4.5%	+4.8%	前年比
9月5日(土)	—				
9月6日(日)	—				

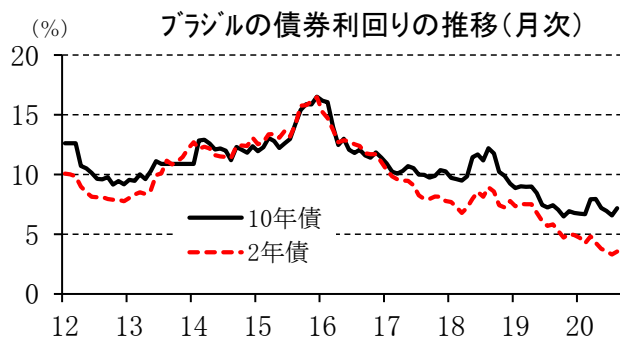
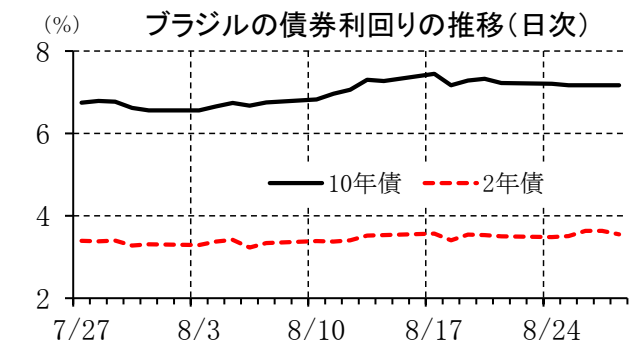
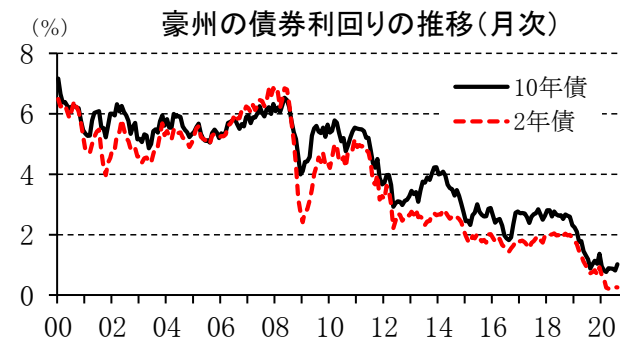
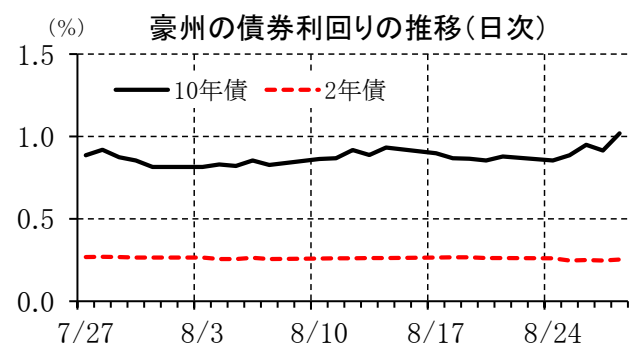
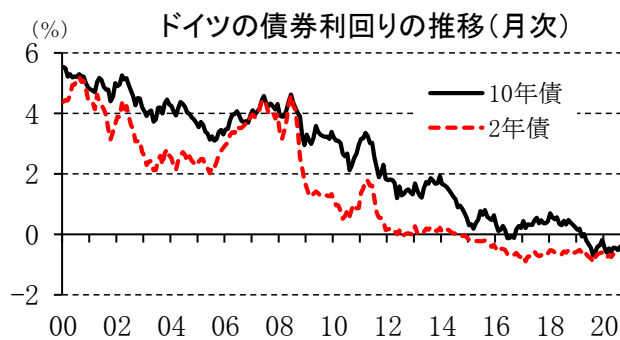
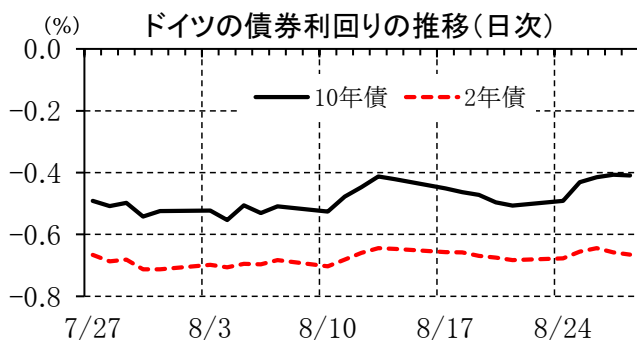
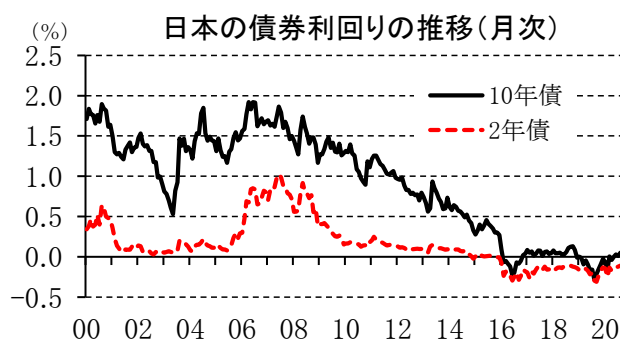
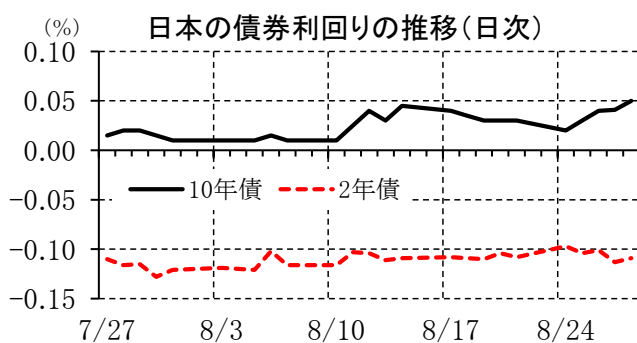
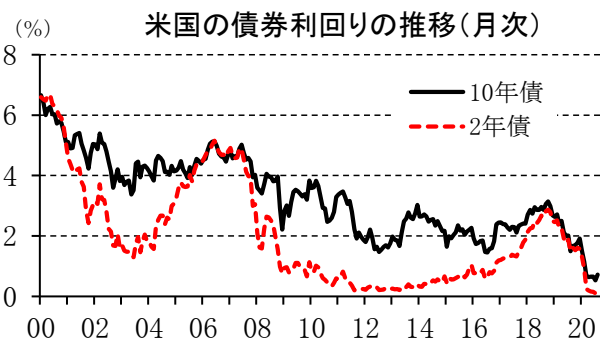
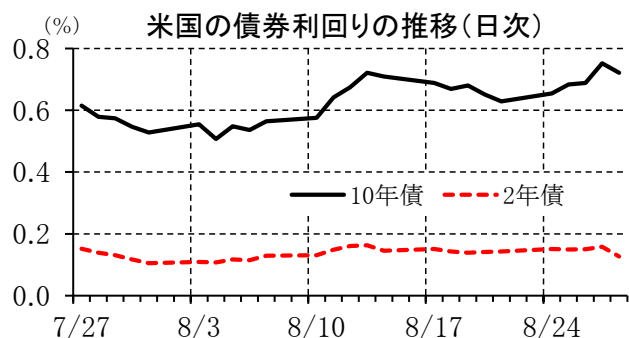
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

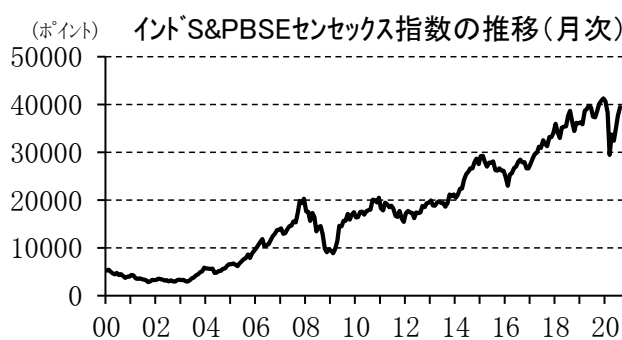
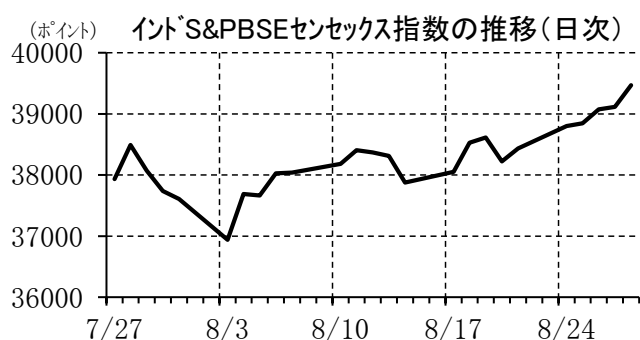
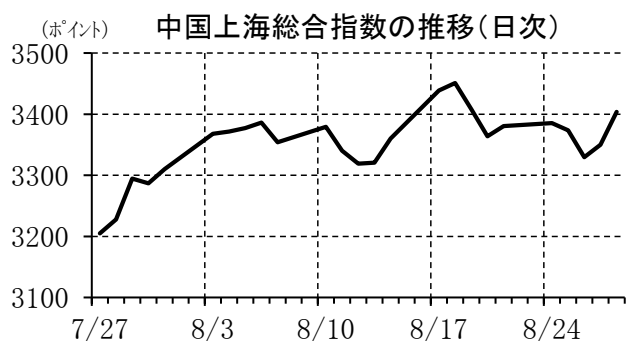
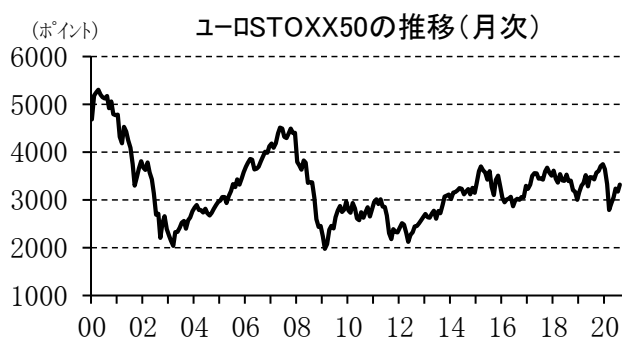
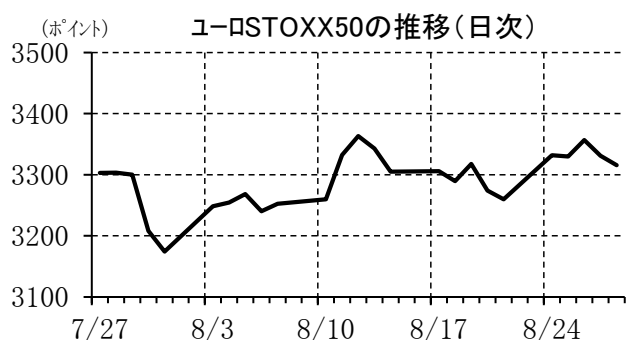
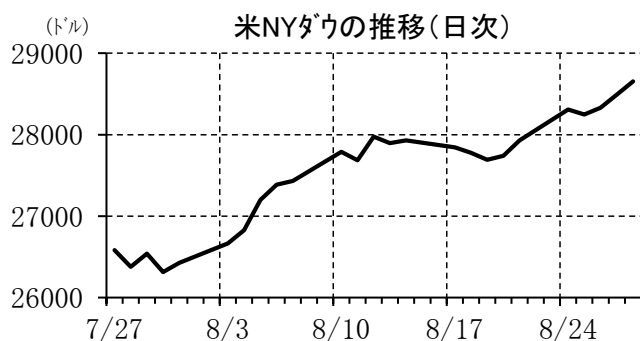
発表日	イベント	注目度	備考
8月31日(月)	米国：クリスタ FRB副議長ハッチャル討論会	★	
	英国：休場		
9月1日(火)	米国：ブレイト FRB理事ハッチャル討論会	★	
9月2日(水)	日本：若田部日銀副総裁講演	★	
	米国：ペーシェブック	★★★	
9月3日(木)	日本：片岡日銀審議委員講演		
9月4日(金)	—		
9月5日(土)	—		
9月6日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

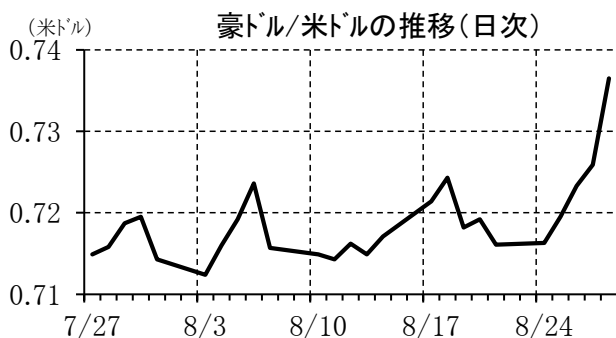
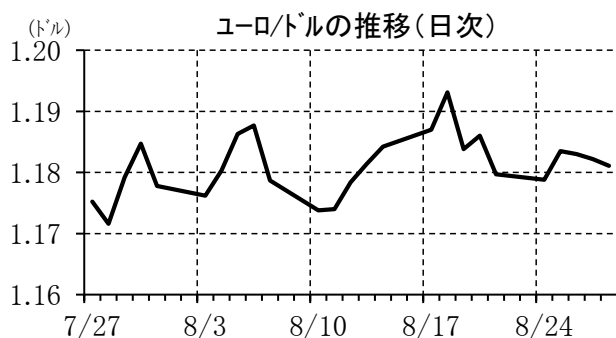
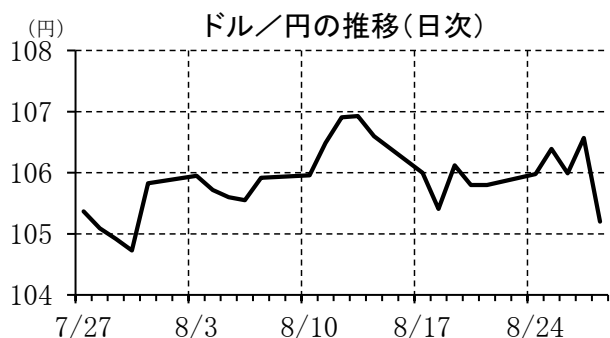
【債券利回り】



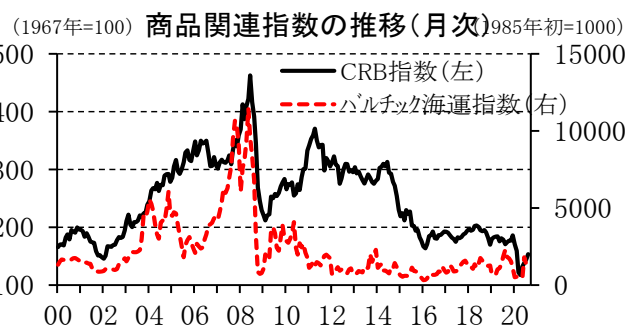
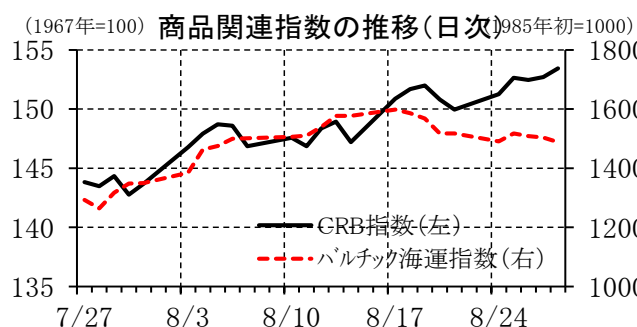
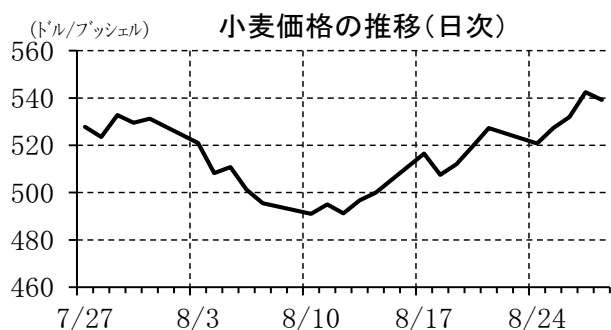
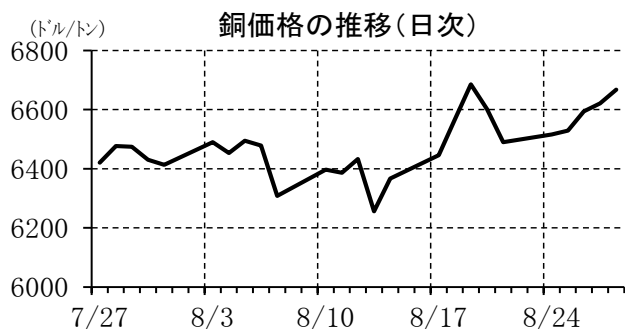
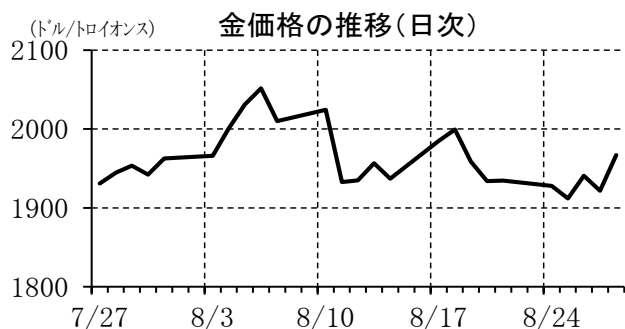
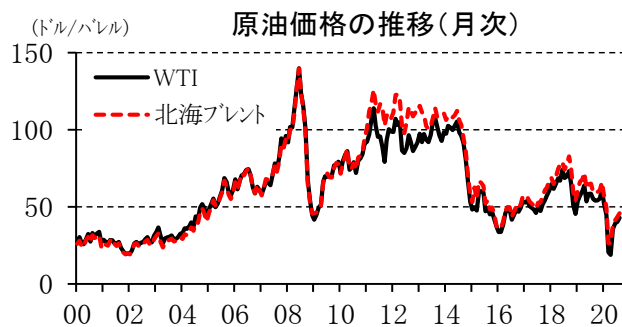
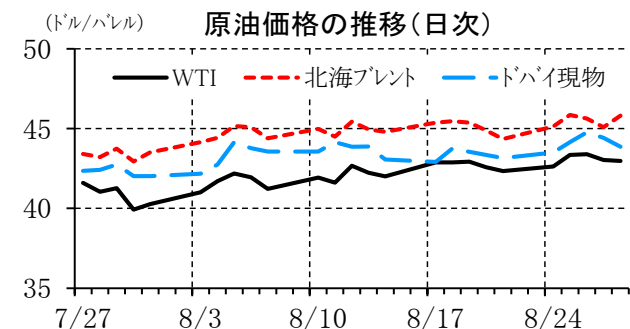
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。